

高校公民プリント（過去問類似）
源流思想と宗教 No.8

名前

得点

/11

問1 大乗仏教の思想家であるナーガールジュナが体系化した思想で、すべての存在は相互に関係し合っ
て成立しており、それ自体で独立して存在する固定的な実体（自性）はないとする考え方を何と呼ぶか。
(2012年 全国公立入試 類似)

1. 空 2. 法 3. 業 4. 苦

問2 家族愛を基礎とする内面的な道徳心と、それを社会的な規範として表現する行動の重要性を説き、自己に誠実であることや他
者への思いやりを通じて、社会の秩序を回復しようとした、儒教の創始者は誰か。
(2016年 全国公立入試 類似)

1. 孟子 2. 墨子 3. 荘子 4. 孔子

問3 師であるソクラテスの死をきっかけに、現実の民主政に絶望し、感覚を超えた永遠不変の真理の領域を想定した。そして、現
実世界の美しいものに憧れる知的・精神的な衝動を通じて、究極の「美そのもの」を認識することを目指す思想を展開した人
物は誰か。
(2025年 全国公立入試 類似)

1. ピタゴラス 2. ソクラテス 3. プラトン 4. エピクロス

問4 ユダヤ教の形式的な律法主義を批判し、神の絶対愛と隣人愛を説いた人物であり、神の支配や救いを「からし種」の比喩を用
いて人々に語り、その到来を「福音」として宣教した人物は誰か。
(2024年 全国公立入試 類似)

1. パウロ 2. ペテロ 3. モーセ 4. イエス

問5 万物に内在する理を宇宙や人間の道徳的規範とし、物質的な気が運動・結合することによって具体的な万物が形成されるとい
う宇宙観を提示し、のちに日本の江戸幕府の官学としても重んじられた儒学の一派を大成した人物は誰か。
(2019年 全国公立入試 類
似)

1. 張載 2. 朱熹 3. 程頤 4. 程顥

問6 古代インドのジャイナ教や仏教などで重んじられ、のちにガンディーがイギリスの植民地支配に対する抵抗運動を指導するに
あたり、その思想的根拠とした「不殺生」や「非暴力」を意味するサンスクリット語の概念は何か。
(2024年 全国公立入試 類似)

1. ブラフマン 2. モークシャ 3. アートマン 4. アヒンサー

問7 孔子が仁や礼に基づく道徳的な秩序を重視したのに対し、その教えを人間による作為的なものとして批判し、万物を生み育て
る天地自然のありのままの根源に従って、作為を排して生きることを説いた思想を何というか。
(2011年 全国公立入試 類似)

1. 信賞必罰 2. 兼愛非攻 3. 無為自然 4. 王道政治

問8 仏教において、快樂と苦行の両極端を避けた実践的な修行法のうち、殺生や盗みなどの悪しき行為を避け、規律にかなった正
しい行動をとることを指す徳目を何というか。
(2018年 全国公立入試 類似)

1. 正命 2. 正見 3. 正業 4. 正語

問9 中国の春秋戦国時代において、儒家が説くような人為的な道徳や社会制度は、かえって人間の欲望を刺激して社会の混乱を招
く原因になると批判した。そして、作為を捨てて自然の理に身を任せる生き方や、素朴な社会である「小国寡民」を理想とし
た思想家は誰か。
(2012年 全国公立入試 類似)

1. 墨子 2. 孟子 3. 老子 4. 荘子

問10 シナイ山において神から「隣人の家を欲してはならない」などの戒律を授かり、出エジプトを率いてヘブライ人を導いた、旧
約聖書に登場する預言者は誰か。
(2025年 全国公立入試 類似)

1. モーセ 2. イザヤ 3. ホセア 4. アモス

問11 古代ギリシアの民主政下では、民会や裁判の場で自らの主張を通すための技術が求められた。このような社会的背景から登場
し、市民に対して弁論の技術を教えた職業教師たちを何と呼ぶか。彼らは客観的な真理の探究よりも、言葉を駆使して聴衆を
説得し、自説を有利に進めることを重視した。
(2024年 全国公立入試 類似)

1. ソクラテス 2. ソフィスト 3. エピクロス 4. ピタゴラス

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 1 空	ナーガールジュナ（竜樹）は、万物は互いに依存し合って存在しており（縁起）、それ自体で固定的な実体をもたないことを「空」と表現し、大乘仏教の理論的支柱とした。これは、何も無いという虚無主義ではなく、固定的な実体への執着を捨てることを促すものである。
問2	答え 4 孔子	乱れた社会秩序を回復するため、身近な家族愛（孝悌）を基礎とする「仁」と、それを社会的な規範として表した「礼」の双方を重視し、これらを体得した「君子」となることを目指した思想家は、儒教の祖である。
問3	答え 3 プラトン	ソクラテスの刑死に衝撃を受けたこの哲学者は、不完全な現実世界（現象界）を超えた、永遠不変の真理の領域であるイデア界を想定した。そして、現実の美しいものへの憧れ（エロース）を媒介として、魂がイデアを想起し、認識へと向かうプロセスを説いた。
問4	答え 4 イエス	イエスは、神の支配や救いを意味する「神の国」を、身近な植物である「からし種」に例えて人々に説いた。これは、神の国が最初は目立たない小さな始まりであっても、やがて大きく成長し、多くの人々を包み込む救いとなることを示している。彼はこの教えを「福音（喜ばしい知らせ）」として宣教し、形式化した律法主義を批判した。
問5	答え 2 朱熹	宋代の儒学者である朱熹（朱子）は、万物の根源的な規範である「理」と、物質的な素材である「気」によって宇宙や人間が構成されているとする理気二元論を唱え、朱子学を大成した。この学問は、のちに日本の江戸幕府において、上下の秩序を重んじる官学（幕府公認の学問）として採用され、政治的・社会的な安定を支える役割を果たした。
問6	答え 4 アヒンサー	ガンディーは、ジャイナ教などの影響を強く受けたインド伝統の「不殺生・非暴力」を意味する概念を、単なる消極的な不殺生にとどめず、悪に対する積極的な愛と真理の力（サティヤグラハ）として捉え直し、イギリスの植民地支配に対する非暴力・不服従運動の指導原理としました。
問7	答え 3 無為自然	孔子は、家族愛を基礎とする「仁」や社会規範である「礼」といった道徳的な秩序を重視した。これに対して老子は、こうした儒家の道徳を人間の知恵や欲求による作為的なものとして批判した。老子は、万物を生み育てる天地自然のありのままの根源である「道」に身を任せ、作為を排してあるがままに生きることを理想とした。
問8	答え 3 正業	仏教における中道の実践徳目である八正道は、正見、正思、正語、正業、正命、正精進、正念、正定の8つからなる。このうち、殺生や盗みなどの悪しき身体的行為を慎み、正しい行いをすることを「正業」と呼ぶ。正しいものの見方は「正見」、正しい言葉づかいは「正語」である。
問9	答え 3 老子	儒家が主張する仁や義などの人為的な道徳を批判し、作為を捨てて自然の理に身を任せる「無為自然」を説いた。また、国家の理想像として、国家が小さく人口も少ない「小国寡民」の素朴な社会を提示した。
問10	答え 1 モーセ	モーセは、エジプトで奴隷状態にあったヘブライ人を率いて脱出（出エジプト）し、シナイ山で神から十戒を授かったとされる預言者である。十戒には「隣人の家を欲してはならない」といった、他者の所有物に対する欲望を戒める規定が含まれている。
問11	答え 2 ソフィスト	古代ギリシアのアテネなどで民主政が発達すると、民会や裁判で自らの主張を有利に展開するための技術が必要とされた。これに応じて、弁論術などの知識を謝礼を取って教える職業教師たちが現れた。彼らは客観的な真理を探究することよりも、状況に応じて言葉を駆使し、他者を説得して自説を通すことを重視した。